

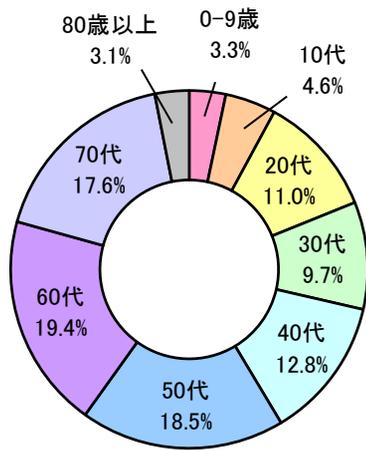
日本書紀成立1300年 特別展「出雲と大和」

アンケート集計結果

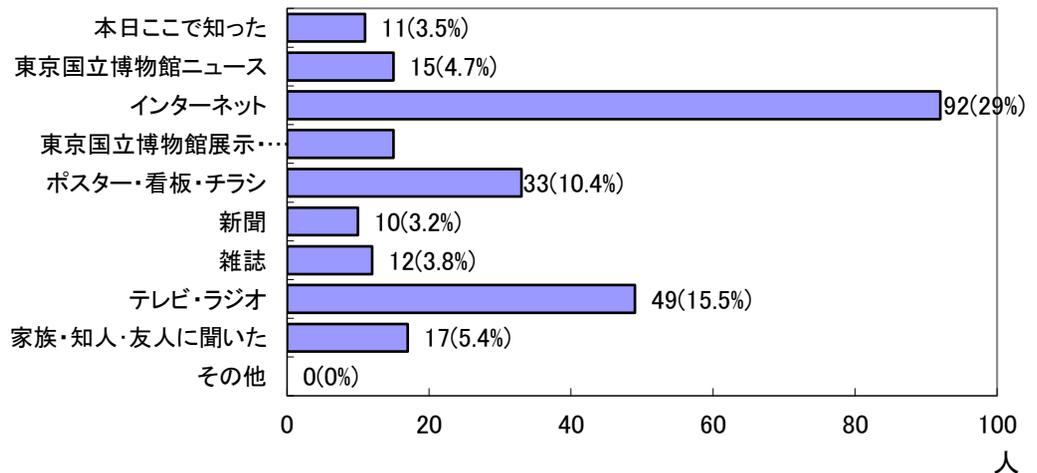
開催期間：令和元年1月15日（火）～令和2年2月26日（日）（37日間）

回答者数：476人（総入館者数：136,054人 アンケート回収率：0.35%）

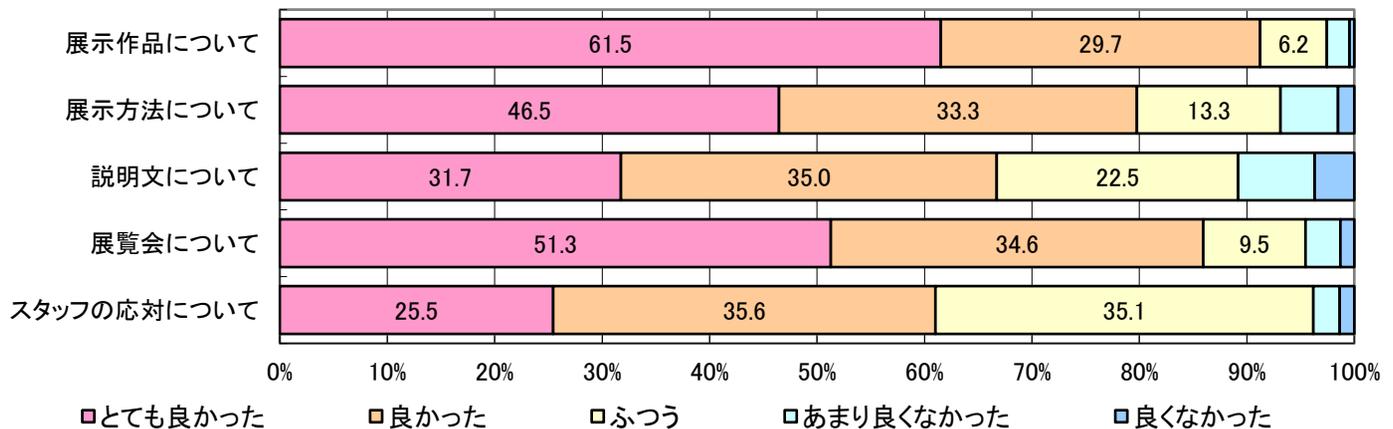
①アンケート回答年齢層



②認知経路（複数回答）



③展示に関する満足度



④主な意見・感想

- ・ 説明文の冒頭に研究員さんの一言コメントがあるが、とてもいい試みだと思う。大いに参考にさせていただき、楽しめた。
- ・ 後半の方は椅子が多く、助かった
- ・ 出雲の展示物と大和の展示物の区別が、キャプションによってつきやすかった。
- ・ 神話などの物語の側面からの説明が欲しかった
- ・ 展示品と説明文が離れすぎている

注：上記数字は以下の通り

	あまり良くなかった	良くなかった
展示作品	2.1	0.4
展示方法	5.4	1.5
説明文	7.1	3.7
展覧会	3.2	1.3
スタッフの対応	2.5	1.4

(%)

令和2年（2020）は、我が国最古の正史『日本書紀』が編纂された養老4年（720）から1300年という記念すべき年です。「幽」と「顕」を象徴する地、島根県と奈良県が当館と共同で展覧会を開催し、出雲と大和の名品を一堂に集めて、古代日本の成立やその特質に迫った本展覧会は、13万人以上の方にご来館いただきました。

アンケートの結果、展覧会に対して85.9%の方から「とても良かった」「良かった」との好意的な意見をいただくことができました。

その一方で、展示品と説明文が離れている、照明が暗いなどの理由で文字が見にくいというご意見や、記紀の内容をより説明してほしいというご意見もいただきました。

本展覧会は、政府の要請により、コロナウイルス感染拡大防止のため会期を縮小いたしました。お楽しみにしていたご来館者様にお詫び申し上げます。今後も来館者の皆様よりお寄せいただきましたご意見・ご感想を参考に、観覧環境のより一層の充実に努めて参ります。